学校番号	209

令和８年度　家庭科

教科	家庭科	科目	家庭基礎	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	ウェルビーイングにつなぐ家庭基礎（教育図書出版）						
副教材等	家庭科資料集 LIFE おとなガイドデジタル＋（教育図書出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇家庭生活に関心をもち、積極的に取り組みましょう。

・生活の様々な現象や課題をグループワークや演習等を通して考え、理解を深め知識を身につけます。友人の考えを知り、多様な考え方･価値観に気づき、自分の考えをもちましょう。

・実践的･体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身につけます。

・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざします。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】
家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】
様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解をしているとともに、それらに係る技能を身につけている。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身につけている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身につけている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

月	学	単	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法

				知(a)	思(b)	主(c)
【1学期】	生涯の生活設計1	1　自分の将来をイメージしよう ・人は一生発達する ・これからのライフイベント ・人生の課題を解決しよう	a: 生涯発達の視点から各ライフステージの特徴・課題とそれに対応した意思決定の必要性について理解している。 b: これからの自分の人生について想像し、まとめたり発表したりすることができる。 c: 人生で起こりうるライフイベントについて自分の将来と照らし合わせながら主体的に考えようとしている。	定期考査 ノート記述 レポート 小テスト	定期考査 ノート記述 レポート 発表	授業観察 レポート 発表
	青年期の自立と家族・家庭	1　自立への一歩を踏み出そう ・あなた自身を知ろう ・五つの自立 2　家族・家庭って何？ ・家族を築くこと 3　将来の自分と家庭を想像しよう ・現在の家族を取り巻く状況 ・男女共同参画社会 ・これからの家族と社会	a: 現代の家族の特徴について、家族機能の変化や人々の意識の変化などについて理解している。 b: 自分自身のアイデンティティとなる内面について見つめ直し、まとめたり発表したりすることができる。 c: 家族・家庭と社会との関わりに関心をもち、男女が協力して家庭を築くという視点から学習活動に取り組もうとしている。	定期考査 ノート記述 レポート 小テスト	定期考査 ノート記述 レポート 発表	授業観察 レポート 発表

	衣生活と健康	1　衣服の役割ってなんだろう？ ・衣服と私たち ・衣服の機能 ・人の一生と衣服 ・衣服の安全上の問題 2　衣服はどうやってつくられている？ ・衣服の材料 ・衣服の構成 ◆被服製作実習 3　衣服の計画・管理を知ろう ・衣服を選ぶ ・衣服の手入れ ・衣服の保管 4　今後の衣生活を考えよう ・環境にやさしい衣生活 ・人にやさしい衣服 ・衣生活を支える世界 ・衣生活の未来	a: 布の縫い方など、基礎的な技術を身につけている。 被服の入手、洗濯、保管などの被服管理について理解し、管理できる技術を習得している。 b: 自分の衣生活について、人と比較して意見を言うことができる。衣生活に関する学習を通して、自身の着装について考え、まとめたり、発表したりすることができる。 c: 衣服で個性を表現しようとしている。社会的慣習に適応しながらも自己実現する着装の工夫をし、着用の目的に応じて健康的な衣服選択と着装をしようとしている。	定期考査 ノート記述 レポート 小テスト 実習記録 作品	定期考査 ノート記述 レポート 発表 実習記録 作品	授業観察 レポート 発表 実習記録 作品

【2学期】	食生活と健康	1　なぜ食べるのだろう？ ・生活習慣と食事 ・ライフステージと食事 ・現代の食生活 2　私たちは何を食べているの？ ・食品に含まれる栄養素 ・栄養素の分類 ・栄養素と食品 3　食品を選ぼう ・食品の選び方 ・安全に食べるために ・「おいしさ」とは 4　今と未来の体をつくろう ・食事をとる基準 ◆献立を立てて調理しよう ◆調理実習を始める前に ◆調理実習 ◆調理を科学の視点で見てみよう！ ◆調理を工夫してみよう！ ５持続可能な生活をめざそう ・私たちの食生活と環境 ・食文化を継承しよう	a: 食と健康の関わりについて知り、食事の大切さを理解している。料理の作り方を理解し、基礎的な技術を身につけ、効率よく調理することができる。 b: 食品の表示を理解し、購入時の判断材料とすることができる。調理実習や実験、新聞や書籍、インターネットによる資料収集などを通して、食の安全や栄養素について、考えをまとめたり、発表したりすることができる。 c: 栄養素や食品の知識を生かして、自分や家族の食生活を改善しようとしている。調理実習で学んだことを家庭などでも実践し、生活の充実向上を図っている。	定期考査 ノート記述 レポート 小テスト	定期考査 ノート記述 レポート 発表	授業観察 レポート 発表
	子どもの生活と保育	1　子どもはどう生まれ育つ？ ・子どもの成長の特徴 2　子どもとどうかかわる？ ・親の役割 ・生活習慣と子どもの生活 3　子育て社会の課題とは？ ・現在の日本の子育て事情 ・子育てを支えるしくみ ・子どもの権利と福祉 ・これからの子育て	a: 生命の尊さを認識するとともに、保育における親やおとなの役割を理解している。 b: 親の役割や子どもにとって望ましい保育環境について、自分の考えを入れながらまとめることができる。 c: 保育における親や社会の果たす役割について考えようとしている。	定期考査 ノート記述 レポート 小テスト	定期考査 ノート記述 レポート 発表	授業観察 レポート 発表

	高齢期の生活と福祉	1　高齢期ってどういう時期？ ・高齢者とは ・高齢期の心身の変化 ・高齢期の健康 ・高齢期の生活 2　高齢化する日本を生きる ・高齢化の現状 ・超高齢社会の課題 ・安心できる暮らしを支える	a: 我が国の高齢化の特徴を知り、高齢者福祉の現状と課題について理解している。 b: 高齢者の自立した生活を支えるために、家族・地域・社会の役割を具体的に考察することができる。 c: 高齢者に対する福祉の現状を理解し、高齢期の生活を支えるしくみについて考えようとしている。	定期考査 ノート記述 レポート 小テスト	定期考査 ノート記述 レポート 発表	授業観察 レポート 発表
	共生社会と福祉	1　共生って何だろう？ ・共生社会って何だろう ・リスクと社会保障制度 2　ともに支えあう社会とは ・ノーマライゼーション	a: 共生社会の重要性を知り、ノーマライゼーション、ユニバーサルデザインなどの理念を理解している。 b: 身の回りのバリアフリーやユニバーサルデザインを調べ、まとめたり発表したりすることができる。 c: さまざまな立場の人や、自分と異なる価値観の人に対しても理解しようとしている。	定期考査 ノート記述 レポート 小テスト	定期考査 ノート記述 レポート 発表	授業観察 レポート 発表
【3学期】	住生活と住環境	1　私たちの暮らす住まいとは？ ・住まいの役割 ・平面図の読み方 2　快適・安全に暮らそう ・住まいに求めるもの ・快適に暮らすための工夫 ・安全・安心な暮らし ・これからの快適な暮らし方 ・災害への備え 3　持続可能な住まいへの備え ・持続可能な住まい	a: 住居の平面図を読みとることができる。安全で快適な住生活を送るための知識を身に付け、環境にも配慮した住生活について理解している。 b: 住んでいる地域のハザードマップなどを参考にしながら、防災への備えについてまとめたり発表したりすることができる。 c: 住まいの役割について、自身の生活を振り返りながら考えようとしている。	定期考査 ノート記述 レポート 小テスト	定期考査 ノート記述 レポート 発表	授業観察 レポート 発表

	消費生活と経済計画	1　何をどうやって買う？ ・消費者と意思決定 ・契約の重要性 ・多様化する支払方法と返済方法 2　消費者問題と消費者を守る仕組みとは ・さまざまな消費者問題 ・消費者を守るしくみ 3　消費者の権利と責任を考えよう ・消費者の権利と責任 ・消費者と持続可能な社会 4　社会経済につながる家計とは？ ・消費生活と経済のつながり ・家計の収入と支出 ・家計の財産の管理 5　将来の経済計画を考えよう ・人生にかかるお金とリスク	a: 三者間契約など、さまざまな契約のしくみや、未成年と成年の法律上の違いについて理解している。家計と経済社会の関わりを理解している。 b: 消費者問題について調べ、被害防止や救済について、具体的な事例を通して考え、まとめたり、発表したりすることができる。将来必要になる費用や資産形成について考えたり、発表したりすることができる。 c:自分の意思で契約できる「おとな」としての権利と責任について, 自分ごととして捉えようとしている。生涯を見通した家計管理のあり方について考えようとしている。	定期考査 ノート記述 レポート 小テスト	定期考査 ノート記述 レポート 発表	授業観察 レポート 発表
	持続可能なライフスタイルと環境	1未来の地球は大丈夫？ ・暮らしと環境問題 ・社会の取り組み 2持続可能な消費行動とは ・持続可能な消費 ・消費者としての自覚と行動	a: 大量生産・大量消費・大量廃棄の生活により、様々な環境問題が生じていることを理解し、持続可能な社会をめざしたライフスタイルの確立に必要な技術を身に付けている。 b: 持続可能な社会をめざしたライフスタイルの確立について課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、表現している。 c:持続可能な社会をめざしたライフスタイルの確立について関心をもち、主体的に学習活動に取り組んでいる。	定期考査 ノート記述 レポート 小テスト	定期考査 ノート記述 レポート 発表	授業観察 レポート 発表

	生活設計2	1　Well-being を実現しよう ・生活にヒントがある ・自分の生き方を設計しよう	a: 人には多様な生き方があることを理解している。 b: 自身の生活設計について、自分なりの価値観を見つけることができる。 c:自身の考える生活設計実現のために必要な情報を収集・整理しようとしている。	定期考査 ノート記述 レポート 小テスト	定期考査 ノート記述 レポート 発表	授業観察 レポート 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度